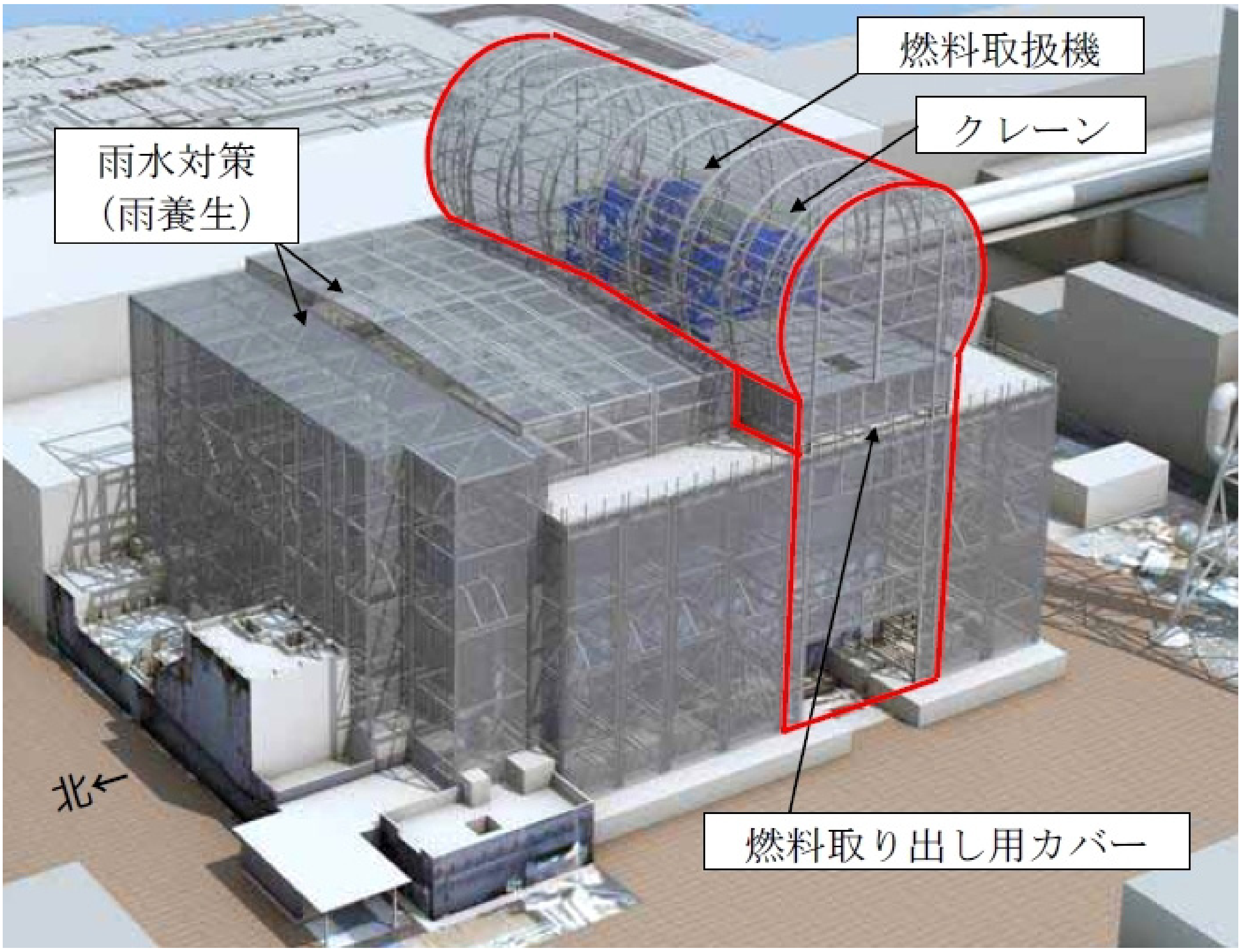
■2012 年 11 月 14 日　1F - 3 号機核燃料取出しについて、東電発表

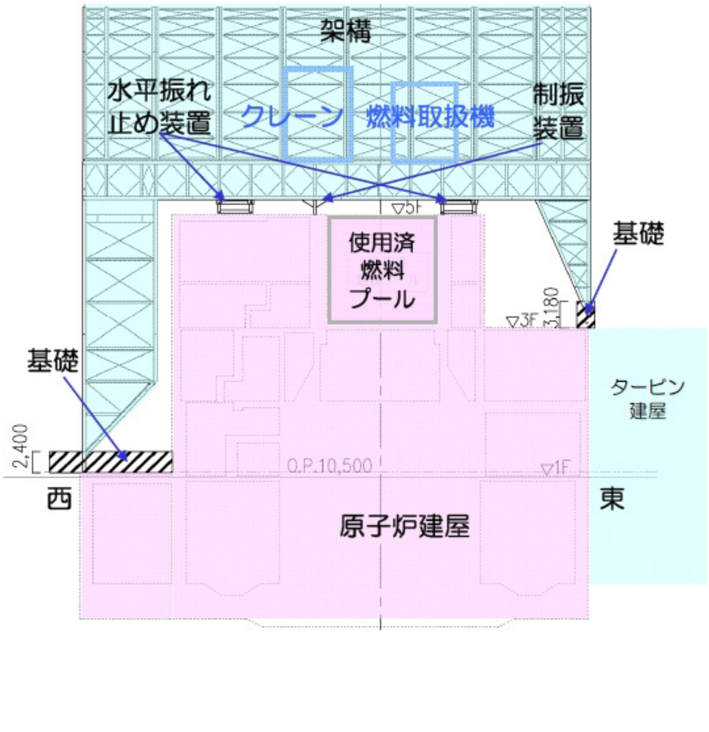
3 号機の使用済み核燃料プールから核燃料取出しのために、原子炉建屋上部に鉄骨製のカバーを設置

取出し用カバーの強度・耐震性を検討、放射性物質の飛散・拡散防止のための機能の備え、移送操作中の燃料集合体の落下の検討など

2013 年 4 月頃 工事開始、2014 年 核燃料プールから核燃料搬出の予定



核燃料取出し用カバー構築イメージ（北西側）＝ 東電提供

概要（赤枠部分）

- 鉄骨トラス構造
- 外装材　鋼製折板（外側を金属板で覆う構造）
- 東西 約 57m ／ 南北 約 19m ／ 高さ 約 54m
- 重さ 約 1500t
- 建屋 5 階の使用済み核燃料プールにかぶせる
- 燃料取出し用カバーの基礎は、建屋の東西下層部に支持させる（損傷している上層部には荷重を負担させない構造）
- 現場は放射線量が高いため、作業員による固定作業は行わず、建屋の凹凸を利用して設置
- 核燃料を取出すためのクレーンなどを併設
- 核燃料取出し用カバーは、キャスク搬出入用のクレーン及び燃料取扱機を支持する構造
- 換気設備に放射性物質飛散・拡散防止機能の備え
- 原子炉建屋 5 階に水平振止め装置、制振装置を設け、核燃料取出し用カバーの地震時の変形を拘束
- 建屋の耐震性などに問題はないとしている